

## 未来の子供たちに豊かな自然環境を 世界遺産 ネパール最古の寺院で2,000本の植樹 4月の地震で被害を受けた小学校へボランティア訪問も実施

創業以来65年以上、はちみつやローヤルゼリーなどのミツバチ産品を扱う、株式会社 山田養蜂場(本社:岡山県苫田郡鏡野町 代表・山田英生)は、2015年8月5日(水)から8月10日(月)の6日間、ネパール植樹ツアーを開催し、世界遺産の「チャングナラヤン寺院」にて約2,000本の植樹を行いました。



チャングナラヤン寺院で植樹するボランティア参加者

当社は豊かな自然環境がなければ成り立たない養蜂業が原点の企業です。だからこそ、自然環境を守る使命があると考え、毎年国内外で植樹を行っています。1999年からこれまでに200万本以上(国内:12万5,000本以上、ネパール:45万本以上、中国:148万本以上)の植樹を行って参りました。ネパールでの植樹は、今年で17回目となります。

今回の植樹は、植物生態学の第一人者である横浜国立大学名誉教授 宮脇昭(みやわき あきら)氏が提唱している「宮脇式植樹」を、同大学名誉教授 藤原一繪(ふじわら かずえ)先生のご指導のもとに実施。当社社員とボランティア参加者、現地の学生、政府関係者など総勢165名で、ネパール最古のヒンドゥー寺院「チャングナラヤン寺院」に約2,000本の苗木を植えました。

ツアーでは植樹だけでなく、今年4月に起きた大地震で大きな被害を受けたナガルコットにある「トワタリ小学校」へボランティア訪問し、片付けの手伝いや子供たちとの交流を行いました。また、現地のふるさと日本語学校や孤児院にも訪れ、文房具を寄贈しました。

参加者からは、「純粋なネパールの子供たちと触れ合っただけで心が洗われました」「植樹活動やボランティアを通して、日本とネパールの交流の大切さを痛感しました」という感想を頂きました。



### ◇本件に関するお問い合わせ◇

株式会社 山田養蜂場 文化広報室 関(ts0975@yamada-bee.com)・廣野(sh0203@yamada-bee.com)  
〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場194 TEL:0868-54-1906(月～金 9:00～17:30 土日祝除く)  
FAX:0868-54-3346 ホームページ <http://www.3838.com>

## 10種・計2,000本の木を植えました

### ＜チャングナラヤン寺院に植樹した樹種と本数＞

・アラカン	15本
・インドシイ	250本
・サクラ	300本
・モチノキ	90本
・オーストラリスエノキ	340本
・チャンパカオガタマノキ	375本
・タマラニツケイ	300本
・ヤマモモ	95本
・イボタノキ	100本
・ワリッチヒメツバキ	135本

計2,000本



### チャングナラヤン寺院

ヒンドゥー教の神であるヴィシュヌ神の化身であるナラヤン神が祀られている世界最古のヒンドゥー寺院です。カトマンズ盆地にある7つの世界遺産の中の一つで、1979年にはユネスコに登録されました。



ボランティア訪問の風景

今年4月に発生した大地震で甚大な被害をうけたネパールでは、現在でも衣類や文房具などが不足しており、困っている方が大勢います。

自分たちの出来ることで支援をしたいと考え、社内で呼びかけて集めた衣類や文房具を、植樹ツアーに参加する社員で手分けしてネパールまで搬送。当社の「みつばちクレヨン」と一緒に現地の小学校や日本語学校、孤児院、ネパール国内でボランティア活動を行っているシャム・バハドウル・ダンゴル氏などへ直接寄贈いたしました。

また、トワタリ小学校へは勉強用のパソコンも合わせて寄贈させていただきました。

## ネパールでの植樹活動の経緯

山田養蜂場の植樹活動は1998年にネパールで開催された熱帯養蜂会議にさかのぼります。当社代表の山田英生が会議に出席した際、森林の大量伐採や、それに伴う大規模な土砂崩れが発生している実態を知りました。

私たちは、自然とともに生きる養蜂業を原点とする企業の責任として、未来の子供たちに豊かな自然環境を残していきたいと考えています。それは日本国内だけでなくネパールでも同様です。

ネパールのために自分たちにできることは何か。観光業以外に主な産業がないネパールでは、単に物やお金を送るだけの支援活動では、かえって彼らの自立を妨げてしまいます。

未来へ自然環境を残しながら、本当の意味での自立支援に繋がる活動でネパールを支援したい。そうした思いのもと、翌1999年、カトマンズで日本語学校を営むシャム氏との出会いをきっかけに、700本の植樹を行ったのがネパールでの植樹活動の始まりです。

2013年からは、植物生態学の権威であり、植樹のスペシャリストである横浜国立大学名誉教授 宮脇昭先生と、同大学名誉教授 藤原一繪先生にご指導いただきながら、現地の植生に合った木々を植えています。(宮脇式植樹)

これまでのネパールでの植樹本数	
植樹年度	植樹本数
1999年	700本
2000年	15,000本
2001年	35,000本
2002年	30,000本
2003年	50,000本
2004年	44,000本
2005年	10,000本
2006年	13,654本
2007年	17,234本
2008年	21,000本
2009年	50,660本
2010年	50,660本
2011年	50,530本
2012年	60,852本
2013年	501本
2014年	2,500本
2015年	2,000本
合計	454,291本